

千里ニュータウンで活動する 高齢者支援活動団体の行事案内

(おんがく・さーくる・コスモスの行事特集)

「懐かしい歌 歌おう会」の主催などで千里のシニアの方たちを元気にする活動を続けておられます「おんがく・さーくる・コスモス(NPO法人 吹田市音楽療法推進会・増田左知子代表)」が5月に開催した「懐かしい歌 歌おう会 花」が多くの観衆を集め成功裏に終わりました。当コーナーでは、その様子のレポートと、次回10月に開催されるイベントについてご紹介してまいります。

6月16日「懐かしい歌 歌おう会 花」の様様

晴天に恵まれた5月15日(金)、13時30分より阪急吹田駅前メイシアター中ホールで、5回目の歌おう会コンサート「懐かしい歌 歌おう会 花」が盛大に開催されました。

このコンサートでは毎回の事ですが、13時の開場時間より約2時間ほど早い11時頃から既に入口に数名のお客様がお越しになり、開場する頃には長蛇の列が出来ていました。

このコンサートは、ステージと客席が一緒になって、ピアノ、キーボード、ドラム、アコーディオンなどの生演奏に合わせて歌うイベントです。

オープニングから会場は大きな歌声に包まれました。

昭和11年の春のうた、東京ラブソディ、そして20年代の歌へと続きました。

途中には、花咲かじいさんなどの童謡に合わせて巨大な150cmの風船が5つも飛び出し客席のあちこちをフワフワと飛んでいく企画もあり、その中の一つが途中で割れるハプニングもあり、会場はあちらこちらで楽しい歓声にあふれました。

一息ついて「バラが咲いた」、「すみれの花咲くころ」では、あらかじめ入場の時にお渡ししていた色とりどりのお花紙を広げて、指にさしたりハンカチをスカーフのように持って、宝塚歌劇団さながらの振り付けをして歌いました。

休憩の後は、「森の小人」の歌に合わせて簡単なストレッチ体操もありました。

その後は、毎回このコンサートのゲストとして、好評を博している和楽器演奏集団「独楽」より、今回は津軽三味線の奇麗どころ京極由加さんと平松麻衣子さんの二人の演奏がありました。

ふたりとも、艶やかな振り袖姿に身を包み、聴衆がうっとりするほどの津軽三味線を演奏し、最後は会場の観客と一緒に手拍子も交えながら花笠音頭を歌いました。

後半は昭和20年代の歌から唱歌を中心に10曲を歌い、最後のエンディングは、観客に配られたキラキラ光るファイバーライトを振りながら「世界にひとつだけの花」をみんなで元気に大合唱し、盛り上がりました。

観客は総数400人あまり。みんないきいきと楽しいひとときを過ごし、次回(10月23日)の再会を約束して、散会しました。



スクリーンの歌詞をみんなで大合唱



巨大風船で楽しむ観客



美しい津軽三味線奏者の二人



ファイバーライトで締めたエンディング

次回「懐かしい歌 歌おう会 風」のご案内

懐かしい歌 歌おう会「風」
2009年10月23日(金)
午後1時30分 開演 12:00 開場
吹田市文化会館 メイシアター 大ホール
チケット料金 前売り1,500円(当日券1,800円)
障がい者参加券 800円
9月10日からメイシアタープレイガイドでチケット販売
お問い合わせ先 吹田市文化会館 吹田市教育委員会

- ・日時: 平成21年10月23日(金)PM1:30～
- ・場所: 阪急千里線吹田駅前 メイシアター大ホール
- ・参加料: 前売り1,500円、当日1,800円(障がい者・介助者800円)
- ・内容: 大正・昭和から現在までの歌謡曲やラジオドラマ主題歌、唱歌、わらべ歌などを歌ったり、手拍子や小楽器を使ったり、軽い手腕の運動などを楽しみながらみんなで一緒に大きな声で歌って元気になります。また、「民謡」ミニコンサートもあります。
- ・お申し込み: おんがく・さーくる・コスモス(TEL.06-6380-3844、FAX.06-6380-3853)